

有限会社東洋堂

長野県長野市



店舗概要

創業年 1916年(大正5年)
売場面積 38.0㎡(11.5坪)
従業員 5.1人
営業時間 8:30~19:00
定休日 元旦・火曜日

商品構成

・生菓子(どらやき・最中)80.0%
・季節菓子 7.0%
・焼菓子 8.0%
・その他菓子 5.0%

経営方針

- ・地域に貢献できる店舗、地元の人々が来やすい店づくりを心がけている
- ・顧客が安心して買えて、食べられる商品を通して、買った側、さらに贈った側の双方に満足していただく
- ・若穂名菓といえば、東洋堂といわれるお店を目指す

「あんぱた」を看板に、地域の老舗として親しまれる

平成27(2015)年に店舗を改装。格子窓を付けた趣きのある外観で、創業100年を越える老舗らしさを出している。

看板の「あんぱた」は、昭和61(1986)年に商品化された。元々どら焼きを主な商品としてきたが、「あんぱた」は、餡にマーガリンを加えたどら焼きで、平成6(1994)年の第22回全国菓子大博覧会で金賞に輝き、同店のある若穂地区はもちろん長野市周辺にまで人気を博している。

あんぱたは、ふわふわもちりの生地、北海道産小豆を炊き、そこに季節ごとに厳選したマーガリンを重ねる。商品はほかに、青梅を入れた「梅どら」、フランス産チーズを使った「チーズ入りどらやき」などがある。あんぱたは1個145円と、素材の品質に比して抑え気味の価格設定をしている。これは地域の方に気軽に買っていただきたいとの配慮からで、仕入先も地元の卸業、工場を使っている。また、お客様を待たせないよう数量の多い場合などは予約をいただけるよう呼び掛けている。

長年親しまれてきているとはいえお客様に忘れられないように、季節感を取り入れた商品を発売、地域のイベントやバザーには積極的に参加することでアピールしている。